

川西市議会議員

きた うえ あき ひと

北上哲仁

いなほだより

2008年1月 VOL.23

編集：北上哲仁サポーターズ

川西市萩原台東1-275-3

1951年12月7日 第三種郵便物
認可 社会新報/号外
社会民主党全国連合機関紙宣
伝局 週刊(水曜日発行)
東京都千代田区永田町1-8-1
電話(代)03(3580)1171
定価180円 1ヵ月700円
送料160円

TEL 072-758-7724 FAX 072-758-7725 http://www.kitauue.com E-mail akihito@kitauue.co

2008年、本年もよろしくお願いたします



昨年暮、市内の加茂遺跡(弥生時代中期)から、集落支配者が住んでいた建物入り口付近の通路跡(長さ約45メートル、幅約5メートル)が発見されました。通路脇には敵を防ぐための柵の跡も見つかっています。テレビや新聞で大きく報道され、考古学者は「土木技術の高さ、当時の戦乱の激しさを裏付ける重要な発見」、建築史の教授は「日本人の都市構成を知る手立てになる」と述べていました。

< まちに潤いと元気を >

私は、現地視察を実施。遺跡を目のあたりにして、2000年前の人々の暮らしに思いを馳せました。先人達の努力の積み重ねによって、現在があるのでしょ。

川西には貴重な文化遺産、豊かな自然環境(猪名川や里山)があります。それは市民の貴重な「財産」です。文化や自然などの「財産」を活かして、まちに潤いを与え市民の気持ちを元気にする政策を提案していきたいと思ひます。

< 多くを学んだ市民相談 >

これまで取り組んできた「しごと・くらし何でも相談」。いろいろな方から相談を受け、多くの事柄を勉強させていただきました。若いお母さんお父さんからは子育て支援施策の課題を、アレルギーや化学物質過敏症の方からは環境政策や学校給食の問題点を、障がいのある方やその家族からは福祉制度の在り方を。市民の声を直接聞き、一緒に考え、市に

対して質問や要望をぶつけてきました。

相談件数が多いのは失業、病気、離婚などに起因する多重債務、生活苦です。これらの問題は、弁護士や社会保険労務士など専門家の力をお借りしながら、相談者本人と共に解決に向けて努力しています。

作家の雨宮処凛(あめみやかりん)さん(32歳)は著書でこう述べています。「悪いのは決してあなたではない。制御不能なまま暴走する資本主義が、人を人として扱わなくなったことに、もう黙ってなどいないのだ」「テーマは、ただ単に『生存』である。生きさせろ、ということである」と。(今年5月に雨宮さんを川西にお招きする予定です。案内は4面)

今の社会には「自助努力」だけでは解決できないことが多すぎます。今年も精いっぱい頑張ります。共に考え、共に活動していきましょう。

川西市議会議員

きたうえあきひと

北上哲仁



12月市議会一般質問

障害者自立支援法「コミュニケーション支援事業」について

手話通訳者・要約筆記者養成講座拡充の答弁引出す

川西市内には聴覚障がい者手帳所持者が326人(2006年)おられます。聴覚障がい者への情報保障や、聴覚・言語機能に障がいある人を含む場面でのコミュニケーションの円滑化等を目的とするものが手話通訳者・要約筆記者派遣などの「コミュニケーション支援事業」です。日常生活、社会参加において大変重要なサービスです。制度の周知が不十分であり、利用者は1割弱でしかありません。

通訳内容は利用者の財産(年金・相続等)や生命にかかわることもあり、通訳者に高い技術が要求されます。特定の通訳者に過度の負担がかかり、通訳者の職業病と言われる「頸肩腕症候群」の診断例が本市においても報告されています。

このような実態を踏まえ、市に通訳者のレベルアップと増員を求め、手話通訳者・要約筆記者養成講

座の拡充を迫りました。手話通訳者養成講座は入門・基礎・基本・応用・実践と5段階あり市町村と都道府県と分担して行うこととなっています。近隣市では少なくとも入門・基礎講座が開設されていますが、川西では入門の一部しか予算化(07年度)されていないのです。これでは通訳者をめざす市民の熱意に応えられません。私は質問で、来年度の手話養成講座入門・基礎の開設および手話通訳者養成講座を毎年開設する旨の答弁を担当部長から引き出しました。

今後も障がい者の自立に向けた社会基盤整備を実現するため、皆さんと力を合わせ頑張ります。

06年手話通訳者派遣事業の利用実態は、実人数26人、延べ回数510回、1705時間でしかありません。

〈 本当につれしく思いました 〉

川西ろうあ協会 会長 木林 弘

北上議員の「コミュニケーション支援事業の実態」、「手話通訳者・要約筆記者の養成」についての一般質問を本会議場で傍聴しました。

去年、障害者自立支援法の完全実施が迫る中、ろうあ者・難聴者が社会参加をするために必要な手話・要約筆記者の派遣事業が「川西市は有料になる」という話が浮上。これは全国的にも珍しいケースでした。急遽、県の聴覚障害者団体の役員が川西に連れられ、地元ろうあ協会・難聴者耳の会・手話・要約筆記者のサークルとで合同学習会を開きました。その第一回から北上さんは積極的に参加され、アドバイスをもらっていただきました。そして聴覚障害者団体と行政との話し合いを行い、北上さんの応援もあり、派遣事業は従来どおり「無料」で行うこととなりました。しかし将来、「有料化」になる恐れもあり、運動は続けるようにしていこうと思いました。

また、派遣事業を担う通訳者の数も不足しております。その養成も急務です。手話の場合、伊丹や宝塚は毎年、入門・基礎の二種類の養成講座を実施しているが、川西市は昨年まで講座を中断。今年やっと入門講座のみ開催されましたが、基礎講座に至っては行政は関心すらなく気落ちしていました。しかし市議会で北上さんが「実施するよう」強く発言され、本当に有難くうれしく思いました。来年度は他市なみに実施できることを楽しみに待っております。

12月市議会 その他の発言項目

職員の数管理と心身の健康について(療養休暇の著しい増加について) / 社会福祉事業団と社会福祉協議会の統合について / 「九頭竜伝説」を活かした観光政策 / 市立川西病院の財政健全化と公立病院としての社会的使命について(助産師外来・乳幼児健診など) / 障がい者の高齢化と「親なき後問題」に対応する政策展開について



意見書 採 択

国に「インターネット有害情報からの青少年保護」「道路整備財源確保」を求める

昨年10月、川西市において出会い系サイトによる情報をきっかけとして女子中学生が誘拐される事件が発生しました。市議会は全会派一致で「インターネット等における有害情報から青少年を保護すべく」「環境整備を推進するよう」政府に意見書を提出。北上は「インターネット情報には違法薬物や児童ポルノを肯定したり、差別や犯罪を誘発するなど見過ごせない内容がある。表現の自由・通信の秘密

を尊重することを前提に、何らかのルール作りは必要だ」と意見を述べました。また「道路整備財源の確保」「道路特定財源の地方への配分強化」を求める意見書も賛成多数で採択。北上は「無駄な道路を建設することにはもちろん反対。しかし川西では生活道路の整備、バリアフリーや交通安全などの課題が山積している。渋滞緩和は環境対策でもある」との立場から賛成しました。

所属委員会役員改選

厚生経済委員長・川西市社会福祉事業団理事に

昨年10月に市議会の役員が改選されました。北上は、議会運営委員会・厚生経済常任委員会(委員長)・まちづくり調査特別委員会・広報委員会に所属します。また川西市社会福祉事業団理事・社会福

祉審議会委員・総合センター運営審議会委員等にも選出されました。皆さんの声に耳を傾け、与えられた職責を全うして行きたいと思えます。

活動報告

- 10月 富山市を視察。路面電車(富山ライトレール)や官民一体で取り組むノーマイカーデーについて。
- 11月 川西市交通問題協議会顧問議員として市関係部と話し合い。能勢口駅前の駐輪場整備等で発言。
- 12月 尼崎市で学習会。市独自に入札のルールを定める「公契約条例」制定に向けての取り組みを聞く。



萩原一丁目自治会の「焼き芋大会」 川西北小地区福祉委員会の「餅つき大会」

「憲法9条をまもり活かす意見広告」を憲法記念日の新聞に掲載しましょう

5月3日に「9条を政治に活かし、世界に広げよう」の意見広告を読売新聞阪神版・神戸版に掲載することを目指した活動を「平和憲法を広げる兵庫県民会議」が始めました。一口、団体5000円・個人1000円で、名前の掲載は団体のみです。ぜひ、ご協力ください。(北上が事務局担当) 連絡は北上まで



使いこなそう!市民の権利 「直接請求」学習会

市民は有権者の50分の1以上の連署を持って、市長に条例の制定・改廃を直接請求できるのです。西宮市で「直接請求」の運動に取り組み、昨年市議会議員に初当選した四津谷さんに、その仕組みと経験をお話いただきます。

講師 四津谷薫さん(西宮市議会議員)

とき 1月19日(土) 午後1時30分～

ところ 川西市文化会館(川西警察署となり)2階 第一会議室

社民党兵庫県連合新春旗開き

とき 1月26日(土)午後1時～

ところ 東天紅(三宮センタープラザ19階)

参加費 5000円

ゲスト 又市征治幹事長 辻元清美衆議院議員

申し込み 北上(090-3613-7069)

「生きさせろ! 格差と戦争を考える」(仮題)

講師 **雨宮処凛** さん
(あめみや かりん)

とき 5月10日(土) 午後2時～(受付1時30分)

ところ 阪急川西能勢口駅前 アステホール
(アステ川西6階)

主催 市民の集い「戦争で幸せになる子どもは、いない!」実行委員会

北上哲仁サポーターズ新春の集い

とき 2月2日(土) 午後12時30分～(受付12時より)

ところ 川西市文化会館(川西警察署となり)2階 レセプションルーム

参加費 2000円(昼食・飲み物)

申し込み 準備の都合、1月28日(月)迄にご連絡ください。

サポーターズ事務所電話 072-758-7724 ファックス758-7725

しごと・くらし何でも相談

普段の生活や仕事で困ったことや不安はありませんか。一人で悩まず一緒に考えましょう。

< 雇員相談員 >

恵須川満延行政書士 小池貞二社会保険労務士 大川一夫弁護士 在間秀和弁護士

連絡先 : 北上哲仁事務所 072-758-7724 (留守時は携帯へ転送)